



鹿児島県立 武岡台高等学校

生徒数 926 人
学級数 24 クラス



《テーマ》「共に生きなん」の校是に立つ「人権同和教育」

「mit LEBEN」(共生)

「人の世に熱あれ，人間に光あれ」

研究に当たって (テーマ設定の理由)	研究の実際
<p>「学校」の主役は「生徒」である。この視点に立って、生徒と直で接する「教師」と生徒を支える「保護者」の三者が、一緒に「人権」について同じ方向で真向かい、同じ思いで取り組み、人権同和教育を通じて一人一人が「人権感覚」を研ぎ澄まして「いじめ」を許さない、全ての“教育の原点”としての人権同和教育を攻究する。</p>	<p>5月11日 (木) いじめ問題を考える週間 8月24日 (水) いじめ問題講演会 (生徒向け) 9月14日 (木) 統一LHR (全学年) 10月19日 (木) 人権同和教育講演会 (保護者向け) 1月31日 (水) 人権同和教育職員研修 (職員向け)</p>

特色ある取組 (他校にもおすすめの取組)

- **いじめ問題を考える統一LHR (1・2年生)**
今年度から教育相談の期間中を「いじめ問題を考える週間」と設定し、その取組の一環として実施した。
- **「いじめ防止等のための基本方針」(令和2年5月制定)**
全6章 19節 8ページからなる小冊子であるが、全教職員に配布している。
- **「みんなですすめる人権教育」講演会**
自尊感情の育成と人間関係づくり、生徒を加害者、被害者にしないためのSNSの利用の仕方を学習した。
- **「人権教育は全ての教育の基本」職員研修**
学校における人権教育、主な人権課題、子どもと向き合う教職員の基本姿勢「M o m」について研修した。



【PTA講演会】



【いじめ問題講演会】

子どもの人権プロジェクト推進校の取組の成果と課題 (子どもの姿、よかったこと、今後やってみたいこと)

- 「人権」という目にみえない対象を「実感」してもらうために――――
本校ではこの事業に参加する前からSNS中傷を取り上げ、「消せない…書き込んだ内容も、書き込まれた内容も…恐ろしき“デジタル・タトゥー”！」を標語として、いかなる「いじめ」も許さない学校環境づくりを実践してきた。文字は見て判読できる、言葉は聴いて認知できる、しかし「人権」を体現するには正しい「知識」と「理解」に基づいて「人権感覚」を培うしかない。保護者と共に教員が生徒を支える“車の両輪”となり、生徒に寄り添うことで“三本の矢”のごとく、“折れない”人権同和教育を推進したい。